

無機ナノ粒子のサイズ・形態制御液相合成に基づく機能材料開発

蟹江 澄志 准教授

(東北大学 多元物質科学研究所)

2018年4月16日(月)16:30-17:20

創成科学研究棟 4階セミナー室 BC

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>



無機ナノ粒子からなる“粉”を、単に研究対象の原料として市販品を疑うことなく購入されている方々、その“粉”は皆様の研究対象を支える基材として最適なものでしょうか？粒径、形状、分散状態、表面状態など、実は単なる“粉”でも考慮すべき点は様々です。本講演では、その原点を見直す機会として、微粒子・ナノ粒子のサイズや形を整えることが如何に重要であるかについて概説し、その具体的な先端材料への適用例を示しつつ紹介します。

1998年5月 東京工業大学博士課程中退、同年6月より東京大学大学院工学系研究科助手、2000年7月 京都大学博士(工学)取得。2002年東北大学多元物質科学研究所助手、2007年同助教、2008年同准教授、現在に至る。2008年3月 トーキン科学技術振興財団研究奨励賞、2010年2月 日本化学会コロイドおよび界面化学部会 第9回 科学奨励賞、2014年3月 第72回功績賞 日本金属学会

問合せ先：触媒科学研究所・福岡 淳(fukuoka@cat.hokudai.ac.jp・011-706-9140)